

## 安全データシート (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製 品 名 : プリンス カセットボンベ NET 250g

会 社 名 : スタイル株式会社

住 所 : 東京都墨田区両国4-31-11ヒューリック両国ビル5F

担当部門 : SMG部

電話番号 : 03-5625-8180

FAXNo. : 03-5625-8185

緊急連絡先 : 03-5625-8180

作成日 : 2018.03.01

改訂日 :

整理番号 : B-007

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

- ・可燃性・引火性ガス

区分1

## 健康に対する有害性

- ・急性毒性 (経口)
- ・急性毒性 (経皮)
- ・急性毒性 (吸入: 気体)
- ・急性毒性 (吸入: 蒸気)
- ・急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)
- ・皮膚腐蝕性、刺激性
- ・眼に対する重篤な損傷・刺激
- ・呼吸器感作性
- ・皮膚感作性
- ・生殖細胞変異原性
- ・発がん性
- ・生殖毒性
- ・特定標的臓器毒性 (単回暴露)
- ・特定標的臓器毒性 (反復暴露)
- ・吸引力呼吸器有害性

分類対象外  
 分類対象外  
 区分外  
 分類対象外  
 分類対象外  
 分類できない  
 分類できない  
 分類できない  
 分類できない  
 分類できない  
 分類できない  
 分類できない  
 区分2(心臓)  
 区分3(麻酔作用)  
 分類できない  
 分類対象外

## 環境に対する有害性

- 水生環境有害性 (急性)
- 水生環境有害性 (長期間)
- オゾン層への有害性

区分外  
 区分外  
 分類できない

## GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語

## 危険

ラベル表示物質： イソブタン、ノルマルブタン 他

危険有害性情報

- ・極めて可燃性又は引火性の高いガス
- ・高压容器 熱すると破裂のおそれ
- ・臓器（心臓）の障害のおそれ
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・（麻酔作用）眠気又はめまいのおそれ

注意書き

《安全対策》

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけると一禁煙  
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

漏洩ガス火災の場合には：漏洩が完全に停止されない限り消火しないこと。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

《応急措置》

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師の診断または手当を受けること。

《保管(貯蔵)》

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物/容器は国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分情報及び含有量：

化学名	化学式 又は構造式	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通知 対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 (質量%)	
プロパン	$C_3H_8$	2-3	74-98-6	対象外	対象外	5未満	
ブタン	イソブタン ノルマルブタン	$C_4H_{10}$	2-4	75-28-5	該当	対象外	95以上
			2-4	106-97-8	該当		
その他の成分	—	—	—	対象外	対象外	0.1%未満	

#### 4. 応急処置

吸入した場合：蒸気を吸い込んで、気分が悪くなった場合には空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、気分が悪い場合には医師の診断または手当を受けること。

皮膚に付着した場合：凍傷の手当を行い、医師の診断または手当を受けること。

目に入った場合：直ちに多量の清浄な流水で15分以上洗う。出来るだけ速く眼科医の診断を受けること。

飲み込んだ場合：誤って飲み込んだ場合は、安静にして医師の診断または手当を受けること。

---

#### 5. 火災時の措置

消火剤：炭酸ガス 粉末消火剤

特定の危険有害性：容易に破裂する恐れがある。

加熱により容器が爆発する恐れがある。

消火活動には距離を十分にとること。

使ってはならない消火剤：棒状水

消火方法：初期の火災には、粉末 炭酸ガスを用いる。

ガスの供給を断つ。

周辺の冷却高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

周辺火災の場合においては容器を安全な場所に移動する。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火を行う者の保護：消火作業は、耐熱性着衣、自呼吸式呼吸器等の適切保護具を着用する。

---

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：空気中において着火源があると爆発するので安全が確認できない場合には近寄らない。

漏洩した液化ガスは気化すると体積が約250倍となり、空気中の酸素濃度を低下させるので酸欠防止のため、換気を十分に行う。

低地から離れる。

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）着用し、皮膚への付着や蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

除去方法：着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないよう注意する。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。

可能であれば漏洩を止める。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取 扱 い：火気と高温に注意。

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気の近くなど温度が40度以上になる所に置かないこと。

火の中に入れてはいけないこと。

ガスを再充填しないこと。

取り扱いには換気の良い場所で取り扱うこと。

容器は使用時以外はその都度キャップもしくは密栓する。  
 通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。  
 吸引危険 ガスを故意に吸引すると、酸欠により窒息死する原因となります。  
 容器にさびが発生している場合にはガス漏れのないことを確認して、  
 できるだけ早く使用する。  
 40℃以上のところで取り扱わない。  
 40℃以上に暖めない。

## 保 管

容器は40℃以下の湿度の少ないこと場所にキャップをして保管する。  
 容器を棚などの落下しやすい場所に置かない。  
 使用後は器具からはずして保管する。  
 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど  
 温度が40℃以上となる場所に置かないこと。  
 日光の直射や湿気、凍結をさけて通風の良いところで保管すること。  
 容器は常にフタ（キャップ）を上に向けて置き、使用済み容器については  
 一定の場所を定めて集積すること。  
 施錠して保管すること。  
 子供の手の届かないところに保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

成 分		管理濃度 (ppm)	許 容 濃 度 (ppm)	
			日本産業衛生学会	ACGIH
液化石油 ガス	プロパン	未設定	1000	1800(mg/m <sup>3</sup> )
	イソブタン	未設定	500	1000
	ノルマルブタン	未設定	1000	1800(mg/m <sup>3</sup> )

設 備 対 策：屋内の使用にあつては換気をよくすること。

保 護 具：－

## 9. 物理的及び化学的性質

	プロパン	イソブタン	ノルマルブタン
外 観：	無色気体	無色気体	無色気体
密 度：	0.50	0.6	0.6
蒸 気 比 重：	1.60	2.00	2.10
蒸 気 圧：	0.744MPa(20℃)	0.34MPa(20℃)	0.21MPa(20℃)
沸 点：	-42℃	-11.7℃	-0.5℃
融 点：	-189.7℃	-159.4℃	-138℃
引 火 点：	-104℃	<-56℃	-60℃
発 火 点：	450℃	460℃	365℃
爆 発 限 界：	2.1～9.5vol%	1.8～8.4vol%	1.8～8.4vol%
溶 解 性：	水に不溶	水に不溶	水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：通常の取扱いにおいては安定である。

燃焼などによる有害ガス発生：CO、NOx等の有毒ガスを発生する恐れがある。

危険物有害反応可能性：酸化性物質と激しく反応

避けるべき条件：燃焼（爆発限界）範囲内にあつては着火源があると燃焼・爆発するのでその条件を避ける。

混色危険物質：強酸化剤

## 11. 有害性情報

## 11-1 成分の健康有害性情報（危険有害物質を対象）（急性毒性）

成分	急性毒性				
	経口 mg/kg	経皮 mg/kg	ガス ppm	蒸気 ppm	粉塵、ミスト mg/l
プロパン	分類対象外	分類対象外	区分外 38890	分類対象外	分類対象外
イソブタン	分類できない	分類できない	区分4 11000	分類対象外	分類対象外
ノルマルブタン	分類対象外	分類対象外	区分外 277274	分類対象外	分類対象外

## 11-2 成分の健康有害性情報（危険有害物質を対象）（皮膚腐食性～生殖細胞変異原性）

成分	皮膚腐食性／刺激性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	呼吸器感作性／皮膚感作性	生殖細胞変異原性
プロパン	区分外	分類できない	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない	分類できない
イソブタン	区分外	区分外	呼吸器感作性：分類対象外 皮膚感作性：分類できない	分類できない
ノルマルブタン	分類できない	分類できない	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない	分類できない

## 11-3 成分の健康有害性情報（危険有害物質を対象）（発がん性～生殖細胞変異原性）

成分	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器有害性
プロパン	分類できない	分類できない	区分3（麻醉作用）	分類できない	分類対象外
イソブタン	分類できない	分類できない	区分2（心臓） 区分3（麻醉作用）	分類できない	分類対象外
ノルマルブタン	分類できない	分類できない	区分3（麻醉作用）	分類できない	分類対象外

## 1 2. 環境影響情報

## 一般注意事項

漏洩時・廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いには注意すること。

生態毒性  
情報なし

残留性・分解性  
情報なし

生態蓄積性  
情報なし

土壌中の移動性  
情報なし

## 12-1 成分の水生環境有害性情報（環境有害物質を対象）

成分	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（長期間）	オゾン層への有害性
プロパン	分類できない	分類できない	分類できない
イソブタン	分類できない	分類できない	分類できない
ノルマルブタン	分類できない	分類できない	分類できない

## 1 3. 廃棄上の注意

## 汚染容器・包装

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄すること、また、廃棄の際にガスやミストの吸入、付着について注意すること。
- ・他のごみと区別して捨てて下さい※清掃車の火災などの恐れがあります。
- ・焼却処理をしないこと。
- ・内容物や容器については都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。

## 1 4. 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類：クラス2.1（引火性高圧ガス）

国連番号：（UN No.）2037

小型ガスボンベ（ガスを放出する装置がないものであって再充電できないものに限る）

品名：プリンス カセットボンベ 250 g

容器等級：一

海上規制情報：IMOの規定に従う。

航空規制情報：IATA/ICAOに定めるところに従う。

## 国内規制

陸上規制情報：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海上規制情報：船舶安全法に定めるところに従う。

航空規制情報：航空法に定めるところに従う。

## 注 意 事 項

取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

## 1 5. 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外(液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法：消防法第9条の3

危険物の規制に関する政令第1条の10の指定物質

液化石油ガス 300kg以上

(消防法第2条第7項法別表の品名欄に掲げる物品で、

同表に定める区分に応じ同表の性質欄に掲げる性状を有するものでは分類できない。)

労働安全衛生法： 施行令別第1条危険物(可燃性のガス)

労働安全衛生法施行令別表第9に掲げる名称表示物質640物質： (ブタン)

その他の有害性物質： (プロパン)

有機溶剤中毒予防則：適用外

特定化学物質障害予防規則：-

毒物劇物取締法：-

特定化学物質管理促進法 (PRTR法)：該当なし

船舶安全法：高圧ガス

航空法：高圧ガス

第一次～第十三次 SVHC (高懸念物質 155物質)：該当なし

## 1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ここに記載された情報は作成時、改定時において、製品における組成及び成分情報の最新情報を集めて作成しております。しかしながら、原材料等の情報は弊社以外から入手したものであり、全ての情報を網羅したものでありません。現時点で正確な物と考えられますが、新知見によって内容が変わることがあります。
- 危険・有害性の評価は代表するものであり、その正確さ、安全性を保障するものではなく、製品の使用において適切な取扱いをするための参考資料となります。
- また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引 用 文 献：

- GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック 改訂第2版 日本化学工業協会
- 各原料メーカーの製品安全データシートおよび安全データシート (MSDS/SDS)
- 化学物質等法規制便覧 化学工業日報社
- GHSに基づく化学品の危険物有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) J I S Z 7153(2012)
- GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252 (2014)
- 安全衛生法令要覧 平成28年度 中央労働災害防止協会